

諏訪ブロック3市議会議員研修会

演題 議員の資質向上と議会運営

講師 自治体議会研究所 代表 高沖 秀宣 先



もくじ

- ▶ 委員会の審査、本会議討論 …… 2~4
- ▶ 議決結果・賛否一覧 …………… 5
- ▶ 陳情議決結果 …………… 5
- ▶ 一般質問通告一覧 …………… 6~7
- ▶ 常任委員会行政視察報告 …… 8~10
- ▶ 意見交換会 …………… 11~12
- ▶ 編集後記 …………… 12

※写真は1月18日の議員研修会の様子

令和4年11月14日 第2回臨時会開催

～補正予算総額「7億4,882万1千円」を可決～

- 価格高騰による負担を減らすため市民税均等割が非課税の世帯等を対象に1世帯当たり5万円の給付金を支給するための経費 (2億9,890万円)
- 子育て世代の家計負担軽減のため子ども1人当たり1万5千円の給付金を支給する経費 (1億3,217万5千円)
- 新型コロナウイルスワクチン接種のための経費 (1億5,389万9千円)

令和4年12月定例会のあらまし

茅野市議会12月定例会は、11月29日(火)から12月19日(月)までの会期で開催。議案17件を審議しいずれも可決。陳情4件を採択、意見書案3件を可決しました。各議案の一覧及び議決結果は、5ページをご覧ください。



②

答 月例給についてはそのとおりである。

議案第64号

全会一致で **可決**

茅野市議会議員及び茅野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例について

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、関係規定を整備するもの。

問 今後も物価変動に基づいて単価が変わるのか。

答 条例制定後初の改正。ここで大きく改正するので、今後の燃料費の動向を見て判断したい。

議案第65号

茅野市個人情報の保護に関する法律施行条例について **可決**

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、関係規定を整備するもの。

問 個人情報の保護が緩くなる懸念はないか。

答 現行と取扱いは変わらない。地方公共団体が独自で定められることは個人情報保護や流通に直接影響を与えない事項に限定されている。

問 不開示情報の期間の経過による開示の想定は。

答 審議会の会議録などが想定され、期間経過後であれば、開示できることが明確に示せるもの。

委員会での意見(反対)

○現行条例では広く守られている個人情報、新条例では外され、法に委ねられており、守られる範囲が狭いと考える。現行条例を続けてほしいので反対。

委員会での意見(賛成)

○全国統一、法で守られ、反対討論にある懸念はないと考えるので賛成。

本会議における討論 **可決**

反対討論

現在の「茅野市個人情報保護条例」を廃止して、全て国の法律に依拠し、緩やかな規制となっている。行政としての責任を全うするに当たり問題だと考え反対。(望月克治)

賛成討論

個人情報保護法のもと、全ての国民の個人情報が等しく保護されることとなる中で、本条例は、法の目的及び

①

委員会に付託された主な議案

※委員会内で質疑等がなかった議案の記載省略。(全会一致で可決)

予算決算委員会

委員長 小尾 一郎

議案第74号

令和4年度茅野市一般会計補正予算(第7号)について 全会一致で **可決**

6億3,914万6千円を追加し、歳入歳出それぞれ306億5,919万円とするもの。

主な補正内容

- 電気料、ガス料金、燃料費の値上がりによる今後の不足分の光熱水費。(4,500万円)
- 学生数増加等による諏訪広域公立大学事務組合への負担金。(1億7,503万6千円)
- 職員が使用するインターネット系システムの次期強化システム構築の経費。(5,170万円)
- ふるさと茅野市応援寄附金増加に伴う返礼品等。(2,162万1千円)
- 新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金など、国県支出金等の過年度精算による返還金。(1億2,676万円)
- 永明小中学校周辺整備による用地購入費等の支払いを令和5年度に繰越しするための経費。(8,500万円)
- 市内小学校の照明LED化改修工事に伴う設計・監理委託料及び工事費。(5,025万3千円)
- 中央公民館の発電機及び高圧受電設備の更新にかかる経費。(2,120万3千円)



総務環境委員会

委員長 矢島 正恒

議案第72号

茅野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について 全会一致で **可決**

人事院勧告に伴い給与改定を行うもの。

問 若年層のみの改定で、部課長級の改定はないということでしょうか。

④

議案第 62 号 **全会一致で可決**
諏訪中央病院組合規約の一部変更について

国民健康保険診療所の経営を諏訪中央病院組合に移譲することに伴い規約の変更をするもの。

問 泉野診療所廃止はどうか。

答 公共施設再編計画で検討することになり、経営移譲とは切り離して考えていただきたい。

議案第 63 号 **全会一致で可決**
公の施設の指定管理者の指定について (茅野市寿和寮)

茅野市寿和寮の指定管理者を社会福祉法人平成会に指定するためのもの。

問 入札者は一社のみか。

答 本来数社あるべきだが、指定管理者選定審査会の審査を経ており適当な相手方と言える。

陳情 16 **採択**
介護保険制度の改善を求める陳情書

委員会での反対意見・討論

○高齢化と生産年齢人口の減少で負担が懸念される。サービスを受ける人も出費も増加。一定以上の所得者からの利用者負担を検討することが制度の基本。国の制度には前向きに考えるので反対。

委員会での賛成意見・討論

- 介護保険制度の改善は必要であり、国の税金の配分にもメスを入れる必要があるので賛成。
- 介護を受ける人やその家族が安心して介護できる仕組みの維持は大事。陳情項目は理解でき、声を上げることが必要と考え賛成。
- 保険制度をこのまま放っておけない。負担増加の問題ではなく、このような意見があることを挙げることに異論はない。
- 利用者負担の増加により、サービスを受けられない人も出るとの声を上げるべきなので採択。
- 介護労働者の賃金は産業平均より 7 万円低い。賃上げ施策を求めることを望む。要介護 1、2 の市町村への総合事業移行は見送る意向を示したことから、声を上げることが大切と感じた。



本会議における討論 **採択**

反対討論

給付と負担のバランスを図り、保険料、公費、利用者負担の適切な組み合わせにより制度の持続可能性を高めることが重要である。令和 4 年 10 月以降の国の見直しを見て判断すべき。(長田近夫)

賛成討論

2024 年の介護保険改定に向けた政府の審議会部会は利用率大幅アップやサービス切下げを検討。打開の道は国庫負担の大幅増なので賛成。(伊藤正陽)

③

趣旨を踏まえた適切な内容であると言えるため賛成。(竹内巧)

議案第 71 号 **全会一致で可決**
茅野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

市長及び副市長の給料を減額するためのもの。

問 職員の行為による理事者の減給が年数回ある。直接の上司への対応は十分なのか。

答 市の懲罰委員会で指針や過去の事例等に基づいて、処分内容を決定している。いただいたご意見を真摯に受けとめ、今後の処分決定に当たっていききたい。

陳情 19 **全会一致で採択**
し尿等収集処理事業の一般廃棄物処理手数料改定に関する陳情

委員会での意見

採択、趣旨採択の意見があったため、議員間で意見交換(議員間討議)を行った。

○事業者の存続にも関わることなので採択。

○今の手数料が設定された当時と状況も異なる。事業者の窮状も理解でき、議会でも意思を示すことが良いと考え採択。



福祉教育委員会

委員長 野沢 明夫

議案第 73 号 **全会一致で可決**
茅野市国民健康保険診療所条例等を廃止する条例について

委員会での意見

茅野市国民健康保険診療所を廃止するためのもの。

問 医師がコロコロ変わる心配がある。

答 医療従事者の継続的確保が目的。定期的人事異動はあっても長期的な医師の配置をお願いしていく。



議案第 61 号 **全会一致で可決**
行政財産の無償貸付について

行政財産を国民健康保険診療所として使用するため、諏訪中央病院組合に無償で貸付けるもの。

問 施設修繕費の負担はどうか。

答 50 万円以上の修繕工事は茅野市が負担する等、協定・覚書に明記する。

問 組合立としての諏訪中央病院の負担に構成市村の理解はあるか。

答 市村の負担比率の拠出分とは別に明確にしていく。市としての負担分を覚書に明記する。

⑥

本会議における議案の審議

議員提案による意見書案の提出について

議第 9 号

介護保険制度の改善を求める意見書案



陳情 16 を採択したことによるもの。

反対討論

陳情 16 についての反対討論のとおり、意見書提出に反対。(長田近夫)

費用がかかるものは、議員たるもの財源を意見書に記載すべき。財源が示されていない意見書は議員としては片手落ちであるので反対する。(小尾一郎)

賛成討論

陳情 16 は政府に意見書を上げることを求めている。陳情が採択された以上、意見書を提出すべきなので賛成。(伊藤正陽)

議第 10 号

安全・安心の医療・介護実現のため 人員増と処遇改善を求める意見書案



陳情 17 を採択したことによるもの。

反対討論

保健所の増設は、職員増や内容充実が最優先と思います。利用者の負担軽減は、その財源には触れておらず増税なのかどうか。あとは国がどうかしろとあまりにも一方的。(東城源)

賛成討論

陳情が採択され、陳情の要望通りに意見書を国へ提出することが必要と考えるため賛成。(木村かほり)

議第 11 号

要介護 1、2 の人の生活援助等の 介護保険給付を市町村の総合事業に 移行すること等について意見書案



陳情 18 を採択したことによるもの。

反対討論

利用料の負担増をせずにサービスの提供を求める内容は理解できない。有料化により最良のサービスを受けられることが大切と考える。子や孫に負担の押し付けを望む高齢者がいるのか？若い世代の負担増加を避ける必要があるため反対。(両角実晃)

介護事業者の方々も懸念している財源案の明記がない。議会を通して意見書を出すのなら、総合的に議論し提出すべき。十分な議論もなされていないため内容に反対。(吉田基之)

賛成討論

陳情 18 が採択され、意見書を国に上げることは議会の責務である。税のバランスをもって、国庫負担金の引き上げを求める。(伊藤正博)

⑤

陳情 17

安全・安心の医療・介護実現のため 人員増と処遇改善を求める陳情書



委員会での反対意見・討論

○介護保険料は平成 12 年と比べ 3 倍増加。それを養う人は減少。負担を上げる事で制度が破綻してしまう。現役世代の負担増につながるため不採択。

委員会での賛成意見・討論

○医療・介護現場の実態は厳しい。声上げに賛成。
○負担軽減の財源には、国の全体予算で医療・福祉・介護への措置がなされるべきなので採択。

本会議における討論



反対討論

労働基準法を遵守することが医療・介護現場に関わらず企業に課せられており、この法を守る取り組みを行うことが優先である。項目 4 についても法に基づく負担割合になっている。(長田近夫)

賛成討論

医療、介護の現場の従事者の苦しい現状の声を聴く中で、国へこうした声を届けることが重要と考えるため賛成。(木村かほり)



陳情 18

要介護 1、2 の人の生活援助等の 介護保険給付を市町村の総合事業に移行する こと等についての意見書提出に関する陳情書



委員会での反対意見・討論

○市町村への移行について、訪問介護、通所介護は全国一律の基準でなく、むしろ逆に、その地域に合った多様な人材や方法等、効率的な考え方の可能性があるのではないかと。よって反対。

委員会での賛成意見・討論

○移行によって介護の担い手はボランティアになってしまう。
○制度上、保険料を払っているのだから、専門職が当たるのが基本である。サービス利用料の負担増が利用減に結び付いてはならない。
○地域移行についても現状受け皿の人材確保ができない。慎重な対応が必要なことから採択。

本会議における討論



反対討論

要介護 1、2 の介護予防・日常生活支援総合事業への移行、ケアプラン有料化は見送りの可能性大である。令和 4 年 12 月 28 日の審議会で反対と聞いている。(長田近夫)

賛成討論

介護保険制度の改正案だが、介護 1、2 の人たちは認知症の人が多く、家族等の負担が多いこと、市町村の基盤整備が進んでいない現状で強行してはならないと考える。(伊藤正博)

12月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧及び報告

全会一致の議案等

付託委員会 総…総務環境 福…福祉教育 予…予算決算
 ※経済建設委員会への付託案件はありませんでした

市 長 提 出 議 案	番 号	件 名	付託委員会	議決結果	市 長 提 出 議 案	番 号	件 名	付託委員会	議決結果
	72	茅野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	総	可決		71	茅野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決
73	茅野市国民健康保険診療所条例等を廃止する条例について	福	可決	74	令和4年度茅野市一般会計補正予算(第7号)について	予	可決		
61	行政財産の無償貸付について	福	可決	75	令和4年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	予	可決		
62	諏訪中央病院組合規約の一部変更について	福	可決	76	令和4年度茅野市水道事業会計補正予算(第1号)について	予	可決		
63	公の施設の指定管理者の指定について(茅野市寿和寮)	福	可決	77	令和4年度茅野市下水道事業会計補正予算(第1号)について	予	可決		
64	茅野市議会議員及び茅野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例について	総	可決	15	食の安全を守るため、小学校にてゲノム編集トマト苗を受け取らないことを求める陳情書	総	★ 議場配布		
66	茅野市情報公開・個人情報保護審査会条例について	総	可決	19	し尿等収集処理事業の一般廃棄物処理手数料改定に関する陳情	総	採択		
67	茅野市情報公開条例の一部を改正する条例について	総	可決	12	専決処分報告について				
68	茅野市地区コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について	総	可決						
69	茅野市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決						
70	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	総	可決						

★議場配布とは…茅野市の行政および市民生活に直接・具体的に利害が及ばない事項を願意としている等の陳情は、委員会に付託せず議場で議員に配布するということ

意見が分かれた議案等

○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託委員会	議決結果	議員																
				角 実 晃	木 村 か ほ り	吉 田 基 之	竹 内 巧	伊 藤 正 博	机 博 文	東 城 源	木 村 明 美	小 尾 一 郎	矢 島 正 恒	伊 藤 勝	長 田 近 夫	伊 藤 正 陽	伊 藤 玲 子	野 沢 明 夫	望 月 克 治	松 山 孝 志
65	茅野市個人情報の保護に関する法律施行条例について	総	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	介護保険制度の改善を求める陳情書	福	採択	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○
17	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	福	採択	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○
18	要介護1、2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行すること等についての意見書提出に関する陳情書	福	採択	●	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○
9	意見書案の提出について(介護保険制度の改善を求める)		可決	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○
10	意見書案の提出について(安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める)		可決	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○
11	意見書案の提出について(要介護1、2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行すること等について)		可決	●	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○

議決日は、12月19日の議会最終日(ただし、議案第72号は11月29日の開会日に議決)

陳情 議決結果

番号	表 題	趣 旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情16	介護保険制度の改善を求める陳情書	介護保険利用料の引き上げ等の見直しを行わないなど、介護保険制度の改善を求める意見書を国に提出することを求めるもの。	諏訪地方社会保障推進協議会	採択	採択
陳情17	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	医師・看護師・介護職員などの配置基準の見直しや増員、賃金を引き上げることなど処遇改善を求める意見書を国に提出することを求めるもの。	長野県医療労働組合連合会	採択	採択
陳情18	要介護1、2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行すること等についての意見書提出に関する陳情書	要介護1、2の人の介護サービスの地域支援事業への移行の拙速な検討を避け慎重を期することやケアプラン作成料の全額給付の維持などを求める意見書を国に提出することを求めるもの。	鈴木森夫	採択	採択
陳情19	し尿等収集処理事業の一般廃棄物処理手数料改定に関する陳情	事業継続のため、くみ取り料の値上げや、料金の端数廃止また至難収集の料金設定および料金設定のない仮設トイレのくみ取り料の設定を求めるもの。	(有)伊沢衛生ほか2団体	採択	採択

茅野市の課題を問う！

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。
また、同ホームページの『会議録検索システム』で会議録の閲覧
ができますので、ご利用ください。

12月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
吉田基之	1 循環型社会の構築について	(1) 現状はどうなっているのか (2) 今後どのようなことができると考えているか
伊藤勝	2 高校再編計画について	(1) 市としてどのように受け止めているか (2) 市として今後の対応について
	3 新地域公共交通について	(1) 別荘地・観光地部会における検討の進捗状況について (2) 同部会への市の関わり方について (3) 観光特化型バスの割引の考えについて
竹内巧	4 ゴミ出しルールの定着状況と課題の解決について	(1) ゴミ出しルールの順守状況と課題について (2) ルールの定着に向けたこれまでの市の取組について (3) ルールの順守に向けた今後の市の取組方針について
	5 自発的に取り組みたくなる健康増進策について	(1) 健康増進に向けた取組状況と課題について (2) 自発的に取り組みたくなる健康増進の仕組みづくりについて
長田近夫	6 相続登記義務化等の周知・広報について	(1) 所有者不明土地等の現状について (2) 所有者不明土地等の解消に向け、市が周知・広報する効果について (3) 市の具体的な施策案について
	7 AEDについて	(1) 市内設置場所の市民周知の方法について (2) 講習会の状況について
矢島正恒	8 新年度予算が目指す「新たなまちづくり」について	(1) 「まちづくり懇談会」の結果を踏まえた、市長が目指す第6次総合計画に反映するこれからのまちづくりについて (2) ハヶ岳西麓3市町村の「共同宣言」に基づく「環境」「観光」「農業」等における、更なる事業の推進について (3) 脱炭素社会「ゼロカーボン地域」を目指す茅野市のGX戦略の推進について (4) 通学路の街路灯整備や地域の見守り等による、子どもの安心・安全な通学路環境整備の一層の推進について (5) 新しい時代に対応した「人材育成ビジョン」が目指す職員像と「行財政改革」の具体的な取組について
両角実晃	9 子どものスポーツを取り巻く課題について	(1) 子どものスポーツ実施率の低下、体力低下などから見えている課題について (2) 今後の取組について
	10 森林整備の取組について	(1) 森林経営管理制度について (2) 今後の進め方について
野沢明夫	11 中学校における休日の運動部活動の地域移行について	(1) 現在の休日の活動状況はどのようになっているか (2) 移行後の運営主体として予想される形はあるか (3) 平日の部活動との連携について (4) 受益者負担と市の補助について
	12 茅野市職員の定年引上げに伴う制度改正について	(1) 制度改正の概要はどのようなものか (2) 再任用制度との関連はどうか (3) 職員採用への影響はあるか (4) 給与、退職手当への影響はどうか

	件名	要旨
机博文	13 第2次農業振興ビジョンの検証と、次期計画に向けての検討事項について	(1) 第2次農業振興ビジョンの成果と現状の課題について (2) 第3次計画策定に向けての検討事項について
東城源	14 「空き家問題」の解決策について ※欠席のため一般質問は行なっていません	(1) 茅野市の空き家の状況は (2) 空き家が及ぼす問題点は (3) 茅野市の空き家対策の現状とその成果は (4) 来年度の空き家対応策と目標は
小尾一郎	15 諏訪中央病院の茅野市立化を提案する	(1) デジタル田園健康特区構想における医療機関の役割と諏訪中央病院の位置付けについて (2) 特区構想について諏訪中央病院組合構成自治体の理解と協力応諾は得ているか (3) 一部事務組合立と市立と、どちらがこの構想実施に効果的であると考えるか (4) 諏訪中央病院の茅野市立化についての市の考えはいかなるものか
伊藤正陽	16 小中学校給食費の無料化について	(1) 学校納付金のうち、給食費はどのくらいの割合か (2) 学校納付金の滞納、未納の状況について (3) 学校給食は学校教育の中でどのように位置づけられているか (4) 小中学校給食費を無料にすることについて
	17 介護認定を受けている高齢者のサポートについて	(1) 通院のサポートについて (2) ふれあい保健福祉事業の目的について (3) ふれあい保健福祉事業の周知について (4) 独居の高齢者の見守りについて
木村明美	18 茅野市をフィールドにした無人航空機の飛行について	(1) 市内のドローン飛行の現状について (2) 飛行における市の対応について
	19 図書館の充実について	(1) 現状と課題について (2) 電子図書館「デジとしょ信州」について
伊藤正博	20 デジタル田園健康特区に選定されたことを弾みにした「ウェルネス」への取組について	(1) ウェルネスに関するデータ集積・管理について (2) 観光、移住・関係人口増加促進のための取組について
木村かほり	21 体が不自由な方の困難さを解消するための取組について	(1) 体が不自由な方のゴミ捨てについて (2) 日常生活用具の認定について
	22 子どもの権利に関する市の取組について	(1) 茅野市たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例の見直しの考えについて (2) 第3次茅野市子ども・家庭応援計画の見直しについて (3) 子どもの権利擁護の観点からの今後の取組について
望月克治	23 条例で定めている民間事業の料金について	(1) 市の業務以外に条例で料金を定めているものはあるか (2) 料金は条例で定めているが、内税・外税は示されているか
	24 間伐を進める手法について	(1) ゼロカーボンへの取組に、森林資源は入っているか (2) 間伐はどこまで進んでいるか (3) 林業事業者との協力はどうなっているか
	25 デジタル田園健康特区について	(1) 受益者の意見を聞く場は設けられたか (2) 他市町との情報連携について進展はあるか
伊藤玲子	26 協働による「福祉のまちづくり」について	(1) 協働による「福祉のまちづくり」の意義と必要性について (2) 協働による「福祉のまちづくり」の現状と課題について (3) 啓発や協働が期待されている関係部署と、その取組状況について

実施日

令和4年
10月24日(月)
～
10月26日(水)

参加者

委員長：矢島 正恒 副委員長：竹内 巧
委員：木村 明美、小尾 一郎、望月 克治、樋口 敏之

【岐阜県岐阜市】

「ICTを活用したまちづくりについて」

岐阜市は「健康都市ぎふ」を標榜し、出かけて健康になるまちを実現するために、「スマートシティぎふ推進プロジェクト」を策定し、日常生活の中で自然に運動を実践できるまちづくりを推進している。

◎ 茅野市での展開は

当市においては、地域や行政においても、市民の健康を維持し推進する事業が展開されているが、更に様々な取組を生活の中に取り入れ、市民の健康寿命を一層推進することが重要となる。

【石川県加賀市】

「デジタル田園健康特区に係るデータ連携の活用施策について」

加賀市は急激な人口減少に対応するため、本人同意のもとで健康医療情報を家族も含め一元管理し、医療版情報と政策を併せて分析するとともに医療や介護政策に反映させ、市民の健康状態の改善につなげている。

◎ 茅野市での展開は

現在進めている当市の医療関係のDX化推進について、医療現場における先進事例として、当市の今後の具体的な取組に参考となった。



⇒ 自動運転公道実証実験
(岐阜市)



【富山県魚津市】

「ゼロカーボンシティ宣言実現に向けての現状と課題について」

魚津市は、平成13年から環境に係る様々な計画を作成し、順を追って取組が推進されてきた。具体的な取組として「再生可能エネルギーの増加」など3段階に区分し、職員や市民が理解した上で、各事業を推進してきた。

◎ 茅野市での展開は

環境関係の計画は、とかく「ガマン」といった認識が強いが、市民の生活を快適にするとともに、環境を維持発展させる発想が重要となる。市役所職員や市会議員を始め市民が計画をよく理解し、積極的に取り組むことが重要となる。

実施日

令和4年
10月5日(水)
～
10月6日(木)

参加者

委員長：机博文 副委員長：吉田基之
委員：東城源、伊藤勝、長田近夫、伊藤玲子

みのり

兵庫県丹波市「農の学校」 就農希望者教育事業

農業の担い手減少や経営面積の減少が続く中、就農を希望する若い世代に農業技術・経営知識を習得させることや、地域で暮らしていく社会性を育むことで、多くの修了生が将来の丹波市農業・農村の担い手となり、地域への定住促進を図るため、平成30年に「農の学校」を設置。「農の学校」では指定管理により20名を募集し、座学講義、栽培実習・実践、視察研修など有機農業の知識などを学び、丹波市への就農も約6割に及んでいることは、設立の当初目的が十分に果たされている。

新規就農者は有機農業への関心も大きい反面、有機農業で経営を成り立たせるのは大変であるが、栽培方法の習得、農業経営を成り立たせるためのカリキュラムは重要である。更に地域の連携、自治体の支援など総合的にバックアップできる体制づくりや、有機農業に対する理解度を高めていくための熟知した指導者の存在は不可欠である。

丹波市は有機農業50年の歴史があるが、当市も「みどりの食料システム戦略」への取組みに向けて、環境にやさしい農業を、できることから推進しなければならない。



丹波市役所春日庁舎

京都市南部クリーンセンター燃料化施設



京都市廃食用油燃料化事業

平成16年に廃食用油燃料化施設を建設し、家庭やレストラン、食堂から回収された使用済みてんぷら油などの廃食用油からバイオディーゼル燃料を精製。ゴミ収集車や一部の市バスの燃料に利用することで、二酸化炭素の排出削減をしている。

持続可能な航空燃料(SAF)としての需要の高まりと、食用油の使用料の減少により廃食用油の確保が困難となり、業者からの購入などで精製原価も上がっている。カーボンニュートラルの取組としては有効であるが、費用対効果の観点では当市には向かない。

実施日

令和4年
10月26日(水)
～
10月28日(金)

参加者

委員長：野沢 明夫 副委員長：木村 かほり
委員：両角 実晃、伊藤 正博、伊藤 正陽、松山 孝志

【岐阜県多治見市】

子どもの権利条例に基づく施策について

多治見市子どもの権利に関する条例は、子どもの権利条約に基づき平成15年に制定。当時の市長の強い思いがあり、子ども会議やアンケートなどで子どもの意見を聴き、子どもが検討に関わっている。令和2年に命を守ることを重点とする内容を付け加え条例改正を行った。特徴は、所管が企画部の文化と人権の課（くらし人権課）にあり、事業実施は92事業に担当課が記されている。



◎ 茅野市での展開は

「人権課」は「人権」を常に意識でき有効。茅野市で明文化が必要であると考えます。

茅野市の、たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例を子どもの権利の観点から見直すことも求められる。来年度のこども基本法の施行に伴い、子どもの権利に関する施策が求められるため、第3者機関の設置や権利擁護の観点からの評価検証が必要。また、育ちあいのちに、子どもから直接相談できる体制をつくる必要がある。

【愛知県瀬戸市】

「介護」という言葉を出さず、元気な高齢者が参加しやすい教室になっている。「大人の充活！ワンコイントレーニング」「大人のオーラルケア教室」「大人の本気ダンスプロジェクト」など、「大人の」で統一したタイトルとしている。ICTを活用した見守りは、冷蔵庫の扉のセンサーで、開閉状況から見守りを行う。月額負担980円。



◎ 茅野市での展開は

デジタル田園健康特区として、該当者全員を対象とするシステムが創られても良い。保健福祉サービスセンターや社協などの他、商工会議所のまちゼミの活用や介護というキーワードを表に出さないネーミングなど、工夫できる。ファミリーサポートやボランティア活動との連動も必要。

見守りは、スワリカブランドで開発したLPWA無線の活用で事業者の育成につなげたい。また、ふるさと納税の返礼品としての「見守りシステム」の扱いも斬新で参考にしたい。

【大阪府守口市】

地域運動部活動推進事業について

平成31年「守口市立中学校に係る運動部活動の方針」の策定、豊かな学校生活、心身のバランスのとれた成長を目指し活動時間、休養日を休日部活動の地域



移行への取組開始。令和3、4年、大阪府教育委員会より「地域運動部活動推進事業」（スポーツ庁委託）の指定を受け、守口市内中学校2校で実施。設定部活動指導員の配置（令和2年以降）

◎ 茅野市での展開は

生徒ニーズの把握、保護者等関係者への丁寧な説明。費用負担は、受益者負担と市の補助やその他の補助の活用が必要。市体育連盟、協会と学校との連携、スポーツ施設環境の整備、指導者人事バンクの整備 大会参加資格の見直し、困窮家庭へのスポーツ費用補助等行政主導と仲立ちによる協議会などの場の設置が求められる。

介護予防の取組について

議会ホームページにも詳細
を掲載しています

各委員会で意見交換会を実施

議会報告会に
代えて

総務環境委員会 開催日：令和4年10月5日 場所：ひと・まちプラザ

総務環境委員会は、10月5日に地球温暖化対策や脱炭素社会のまちづくりに向けた意見交換会を、東海大諏訪高校科学部の生徒や茅野市地球温暖化対策地域協議会の役員の皆さんと、茅野市ひと・まちプラザで開催しました。生徒6人、協議会役員3人、総務環境委員会議員6人の総勢15人で約2時間に渡る意見交換会となりました。

意見交換会では主に温室効果ガス排出量の削減と、植林などによる吸収量の増加で、排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボン」の実現の可能性などについて意見交換をしました。そのほかメガソーラー問題、地球温暖化の影響、マイカー利用の抑制につながる公共交通機関の利便性の向上などの話題についても意見が出ました。

委員会としては目標の達成に向け、よく分析した現状を踏まえ、進むべき方向を見定め、計画的に取り組んでいくことが大切になるとまとめました。



経済建設委員会 開催日：令和4年12月13日 場所：東部中学校

地域の事を知り自分達で何ができるか考える総合学習「開拓」の授業で、これまで調べ、学んできた事について東部中学生に話をしてもらいました。

- ◎豊かな自然環境を残し、観光につなげていく重要性
- ◎海外からの観光客に外国語パンフレット作成
- ◎白樺湖、温泉、キャンプ場、寒天レシピ等の魅力発信
- ◎地元ビールのパッケージを提案したい
- ◎白樺湖は廃墟が多くイメージが暗いので有効活用方法
- ◎空き家、地域猫、ゴミ環境問題
- ◎昆虫食を広めていきたい
- ◎御柱祭に女性がより参加しやすい環境づくり
- ◎市内を移動しやすい交通手段

茅野市の事で日頃から感じている事は中学生にとっても少なくない。情報発信がとても大切だという声が多く問題意識の高さを感じる意見交換会になりました。



グループで意見交換



福祉教育委員会 開催日：令和4年10月15日

場所：ひと・まちプラザ

市民は公募、その他関係機関に声掛けして、より市民の方が参加しやすいように、土曜日の午前中に実施しました。

教育分野では、どんぐりネットワーク茅野、子どもの学びを広げ隊等、福祉分野では、RforI、ユニサポすわ等にご参加いただき、テーマは、教育が「子ども・学校の課題」、福祉は「暮らしの課題、困りごと」の内容としました。

14名の参加を得て、意見交換を行いました。教育では不登校やいじめなどの対応についてや学校施設、地域の子育てへの関わり等、また福祉ではのらぎあ課題やゴミ問題などの意見がありました。初めての参加の方も多く、日ごろの生活の中での意見を聴くことができました。

意見は行政側へ伝え、今後懇談会、意見交換会等、開催予定としています。



みなさんも傍聴にお越しください

《傍聴をご希望の方は当日議会棟3階までお越しください》

3月定例会本会議予定

- 2月21日(火) 開会、提案説明、先議案件採決
- 3月1日(水) 議案質疑、委員会付託
- 3月3日(金) 一般質問
- 3月6日(月) 一般質問
- 3月7日(火) 一般質問
- 3月17日(金) 委員長報告、採決、閉会

ホームページから
議会を見ることができます

本会議はビーナチャンネルとインターネット(☞QRコード)で生中継と録画をご覧いただけます。



編集後記

いつも通る道で、春に咲く花のつぼみを見つけました。もうすぐ百花繚乱の春が来るなど、待ち遠しいこの頃です。

ちの市議会だより44号をお届けします。

この議会だよりは、市民の皆様が知りたい議会情報をタイムリーにお届けできるよう、「読みやすく・気楽な」という視点を大切に、限りある紙面の中で苦戦しながら編集しています。市議会だよりの発信する情報が、市民の皆様により有効で、また、より身近に感じていただけるよう今後も努めてまいります。

伊藤 玲子

- 議会広報部会 ●
- 部会長 望月克治 ■ 副部会長 木村かほり
- 部会員 伊藤正博、机 博文、伊藤 勝、伊藤正陽、伊藤玲子、野沢明夫

